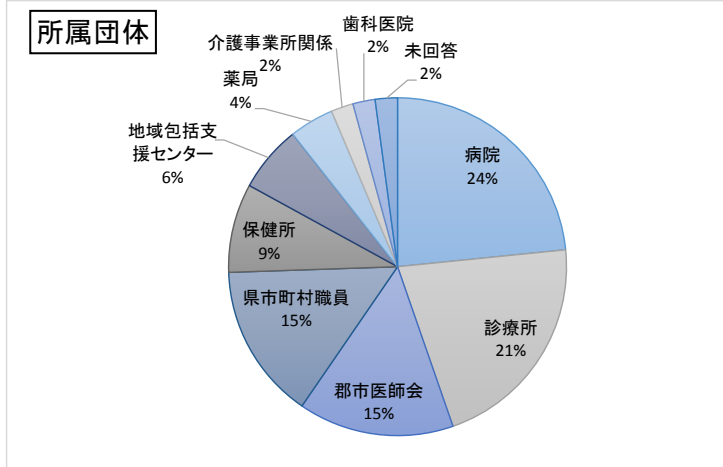


所属

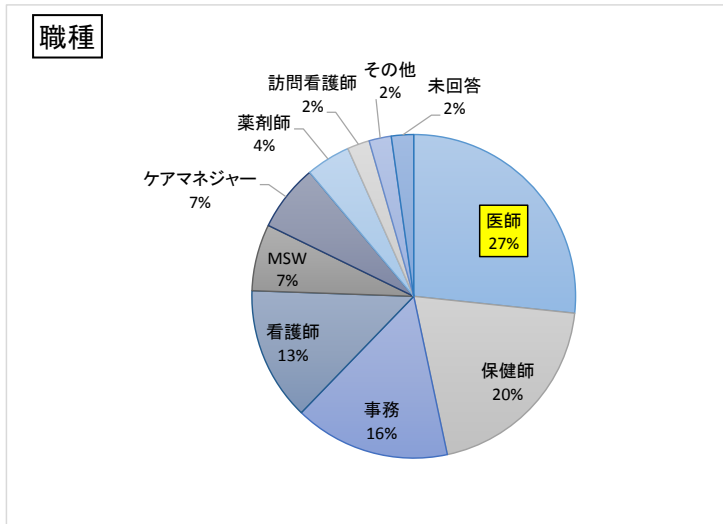
病院	11人	23%
診療所	10人	21%
郡市医師会	7人	15%
県市町村職員	7人	15%
保健所	4人	9%
地域包括支援センター	3人	6%
薬局	2人	4%
介護事業所関係	1人	2%
歯科医院	1人	2%
未回答	1人	2%
	47人	

所属と職種をお答えください



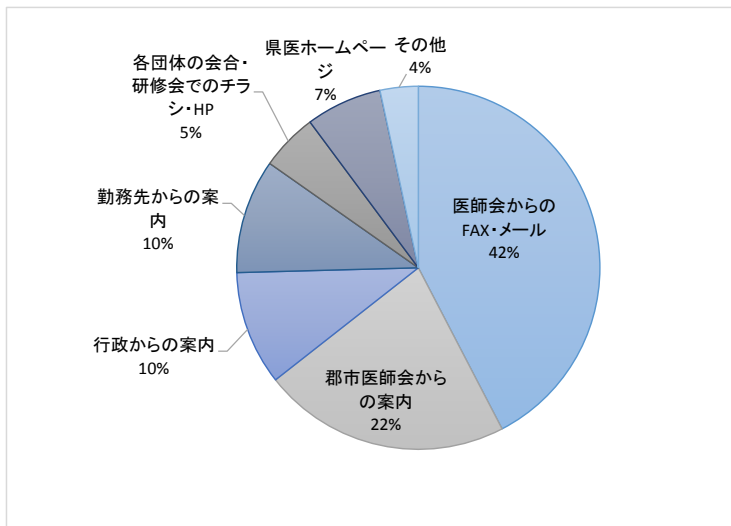
職種

医師	12人	26%
保健師	9人	19%
事務	7人	15%
看護師	6人	13%
MSW	3人	6%
ケアマネジャー	3人	6%
薬剤師	2人	4%
訪問看護師	1人	2%
その他	1人	2%
未回答	1人	2%
	47人	



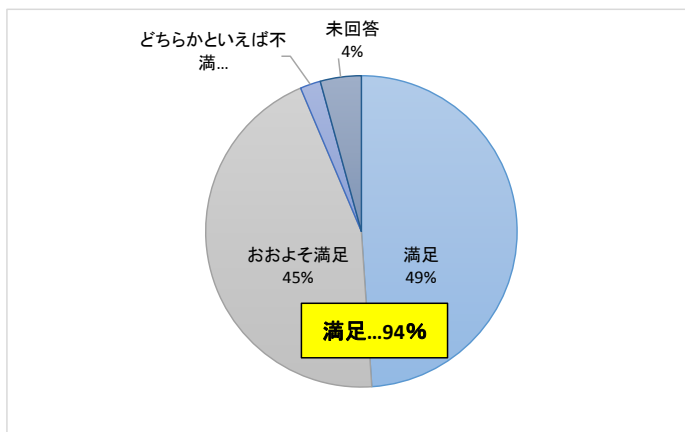
1 今回の研修会はどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)

医師会からのFAX・メール	25人	42%
郡市医師会からの案内	13人	22%
行政からの案内	6人	10%
勤務先からの案内	6人	10%
各団体の会合・研修会でのチラシ・HP	3人	5%
県医ホームページ	4人	7%
その他	2人	3%
	59人	



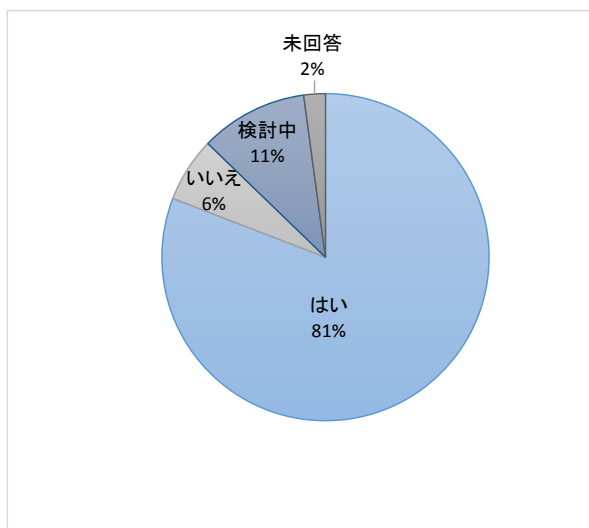
2 本日の研修内容はいかがでしたか。(1つのみ回答)

満足	23人	49%
おおよそ満足	21人	45%
どちらかといえば不満	1人	2%
未回答	2人	4%
	47人	



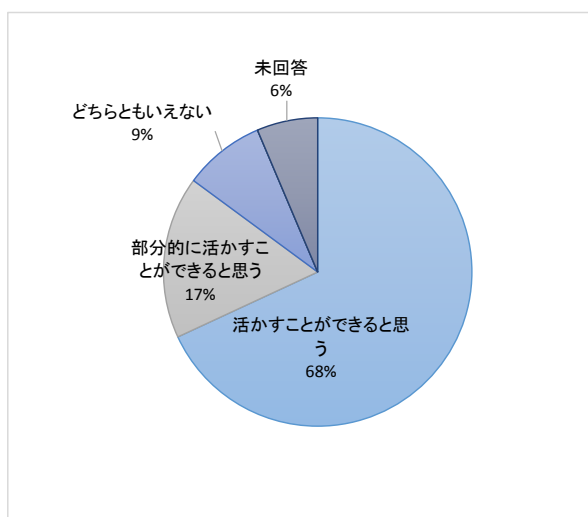
3 あなた、またはあなたの職場は、現在 在宅医療に取り組まれていますか。(一つのみ回答)

はい	38人	81%
いいえ	3人	6%
わからない	0人	0%
検討中	5人	11%
未回答	1人	2%
	47人	



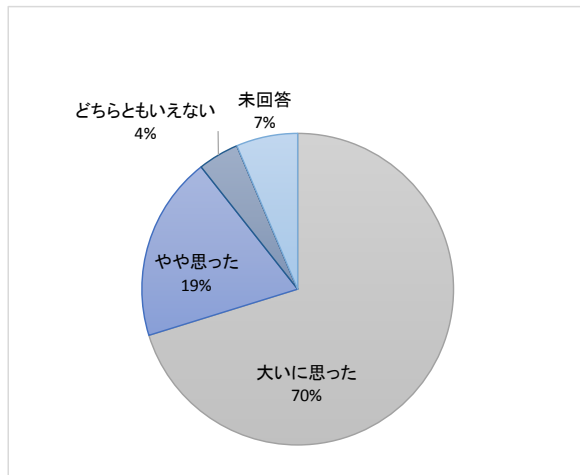
4 本日の内容は、今後在宅医療における多職種連携に活かすことができそうですか。(一つのみ回答)

活かすことができると思う	32人	68%
部分的に活かすことができると思う	8人	17%
どちらともいえない	4人	9%
あまり活かすことができないと思う	0人	0%
全く活かすことができない	0人	0%
未回答	3人	6%
	47人	



5 本日の研修会を通して、今後在宅医療に取り組もうと思われましたか。(一つのみ回答)

大いに思った	33人	70%
やや思った	9人	19%
どちらともいえない	2人	4%
あまり思わなかった	0人	0%
全く思わなかった	0人	0%
未回答	3人	6%
	47人	



参加者 勤務地

いちき串木野市	8
鹿児島市	7
霧島市	6
薩摩川内市	6
始良市	2
志布志市	2
曾於市	2
垂水市	2
鹿屋市	1
薩摩郡	1
阿久根市	0
出水市	0
指宿市	0
額娃町	0
肝属郡	0
錦江町	0
さつま町	0
日置市	0
枕崎市	0
南九州市	0
南さつま市	0

西之表市	3
奄美市	2
大島郡	1
東京都	1
未回答	3
伊仙町	0
宇検村	0
笠利町	0
喜界町	0
住用町	0
瀬戸内町	0
龍郷町	0
知名町	0
徳之島町	0
名瀬市	0
屋久島町	0
大和村	0
与論町	0
和泊町	0

問6 本日の講演や報告会の中で、印象に残ったことや参考になる取り組みはどのようなことでしたか。

鹿児島市	診療所	医師	医師と多職種の取り組み不足が問題。いまだ意識の隔たりが存在する
薩摩川内市	診療所	医師	各地域がそれぞれの地域の特性にあった取り組みをしていくことに感心した。
薩摩川内市	診療所	医師	各職種が集まり、コミュニケーションが大切
いちき串木野市	病院	医師	各地区よく頑張っていました。
垂水市	病院	医師	どの報告も参考になる。 ・推進の方向性はできていると思ったので①課題②人材③住民啓発
霧島市	保健所	医師	それぞれの地区の特性に合わせ地域に合った形で事業が進められており大きな成果があったと思う。
西之表市	介護事業所	看護師	医師会の中でもこのような活動が行われていることを知り、よかったです。主治医不在時の連携体制が印象に残りました。
薩摩郡	郡市医師会	看護師	シンポジウムでは、それぞれの医師会の先生方が取組んでおられる内容がわかりやすく話されとてもよかったですと思います。
曾於市	郡市医師会	看護師	事例紹介など。実生活に落とし込める紹介はすっと頭に入ってきた。ABCD⇒なるほど
西之表市	診療所	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・薩摩郡医師会の発表内容で在宅医療連携シートを作成して冷蔵庫の中に保管したとあったがどうして冷蔵庫を選ばれたのか。 ・始良地区医師会の発表内容で入退院時のスムーズな連携を目指して連携シートを作成していることが良いアイデアだと思いました。 ・肝属郡医師会の発表内容で在宅療養支援外来において多職種のスタッフが診療に立ち会う場面が同時に情報を共有できるので良いと思いました。 ・出水郡医師会の発表内容で多職種交流研修会があったら参加したいと思いました。発表者の多くが寸劇をみて在宅医療について理解が得られたとありました。私たちの地域でもできたらと思いました。
西之表市	診療所	訪問看護師	地域の強みを活かし、地域に応じた在宅医療・介護連携の取り組みが必要で多職種が連携し住民主体の体制づくり

いちき串木野市	病院	MSW	訪問看護ステーションが閉鎖していると、在宅医療での不安があると思うので早急に再開していただきたいと思いました。
いちき串木	病院	MSW	在宅医療推進事業に取り組むためには、地域住民、行政・医療その他介護関係機関などの多職種の連携、チームワークで共有した、目標を持って進めていくことが重要であると感じられました。
鹿児島市	病院	MSW	・多職種連携研修会は企画すれば一病院でも開催できるので開催できる様検討していきたい。 ・連携会に住民が参加していることはとても良いことだと思う。
鹿児島市	病院	PT	コーディネーターの役割の重要性が理解できました。
鹿児島市	県市町村職員	保健師	顔の見える関係づくりは地道な取り組みの重ねでできるものだと改めて感じました。また、関係づくりを維持・拡大する努力は一人ひとりが意識する必要があると思いました。
鹿児島市	県市町村職員	保健師	各地域での取り組みがよくわかり、今後の参考にしていきたい。
薩摩川内市	県市町村職員	保健師	それぞれの地域特性を活かしての活動はとても参考になりました。一番はやはり継続して行うことでしょう。
奄美市	保健所	保健師	コーディネーターの質の高さを感じたので、今後市町村事業においても活用できたらいいなと強く感じました。
霧島市	保健所	保健師	どの活動報告も、しっかり地域の現状をふまえ、その地域ならではの取り組みで参考になりました。この取組を市町村がいかに引き継ぎ展開していくか今後の大きな課題であり、そこをどのようにつないでいくか保健所の役割とします。市町村はH30年度までに地域支援事業の展開に加え介護保険に関する様々なことが県から移譲されます。少ないマンパワーでアップアップしている現状がありますし、市町の取り組みの格差を感じています。保健所としてもどかしさも感じています。地域医療構想の動きもリンクさせつつ次のステップが踏めたらと思っています。
薩摩川内市	保健所	保健師	県医師会報告の中にあつた「事業展開の考え方」はすべてにおいて基本になる考え方で大切であると思いました。
曾於市	薬局	薬剤師	ABCD+Eサイクルが参考になった
薩摩川内市	歯科医院	歯科医師	一握りに鹿児島県と言っても各地域によって状況が非常に異なっていることが印象に残りました。ただ共通する部分(高齢化等)も多いと感じました。情報共有の重要性がどの地域も大事と考えておられる様でした。
始良市	県市町村職員	ケアマネジャー	INAネット

奄美市	地域包括センター	ケアマネジャー	奄美の人口減少率が他の地域より大きいため取組みを加速させていく必要がある
霧島市	郡市医師会	事務	皆さんの努力・汗
霧島市	郡市医師会	事務	それぞれの医師会が地域の特性を十分に理解したうえで地域に合った活動をしていることが伝わりました。
霧島市	郡市医師会	事務	地域住民の啓発を行政の方と協力しながら取り組みたい。
いちき串木	県市町村	事務	<ul style="list-style-type: none"> ・課題共有をし、皆が目標に一緒に向かうこと ・できることからやる
いちき串木野市	病院	事務	曾於医師会の少ない資源から連携の重要性のこと。薩摩郡医師会の厳しい状況の中での在宅医療の取組み。
東京都	病院	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの所で寸劇をして、住民に地域・在宅ケアを広めているところ。わかりやすく面白そう。 ・民生委員に協力してもらうのはいいなと思いました。 ・コーディネーターを配置する取組みは実践したいです。でも、すでにコーディネートできる能力のある人材でないと難しいだろうなと感じました。

問 7 在宅医療提供体制推進事業を通して、地域の中で何か変化がありましたらお聞かせください。

鹿児島市	診療所	医師	事務所は増加。しかし、いまだ不足
鹿児島市	病院	PT	地域包括ケアに向けての具体的な取り組みが見えてきました。
奄美市	地域包括センター	ケアマネジャー	顔の見える関係と在宅医療・介護連携の推進を行っていきこうという素地づくりができた。
奄美市	保健所	保健師	医師会や関係機関の多職種との関係が密になり、相談や依頼がしやすくなった。(在宅医療や看取りが増えてきている)
いちき串木野	病院	医師	Face to Faceになれました。
いちき串木野市	病院	事務	いちき串木野地区はDrの高齢化、総合病院が少ないことでの在宅の厳しさ。しかし、訪問看護がH25年から始まり、同時期に始まった事業と同じで先生方に在宅の芽が出てきているのだと思うことでした。
霧島市	郡市医師会	事務	よく在宅医療を聞くようになった
霧島市	郡市医師会	事務	「在宅医療」の4文字が随分浸透してきた。「在宅医療」はしないと以前は言っていた先生が今では、講話を引き受けてくださったり他の先生が不在の際のフォローをしてくださったり…うれしいです。
霧島市	郡市医師会	事務	顔の見える関係づくりができた
霧島市	保健所	医師	顔の見える関係が進んだ
霧島市	保健所	保健師	多職種の話しやすい、相談しやすい雰囲気にはなっていると思います。
薩摩川内市	県市町村職員	保健師	多職種の連携が強化されたと思います。各専門職種が目指すことを共有し、専門職を活かし、地域で取組む。また、他の専門職の役割を知り、顔の見える関係ができたと思います。
曾於市	郡市医師会	看護師	寸劇を見た人たちが家族(親戚)を在宅医療を受けさせたいと思われ「診ている」という声を数件きいた。住民の啓発はやっぱり意味があるんだと感じた。
西之表市	診療所	訪問看護師	種子島地区ではこれから事業を推進していかなければならないので取り組みに今回の研修が活用させていけたらいいと思っています。